

Elazzio

SEAT COVER



DAIHATSU
TANTO
TANTO CUSTOM
TANTO FUN CROSS

SUBARU
CIFFON
CIFFON CUSTOM

専用シートカバー取付説明書

Clazzio

SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

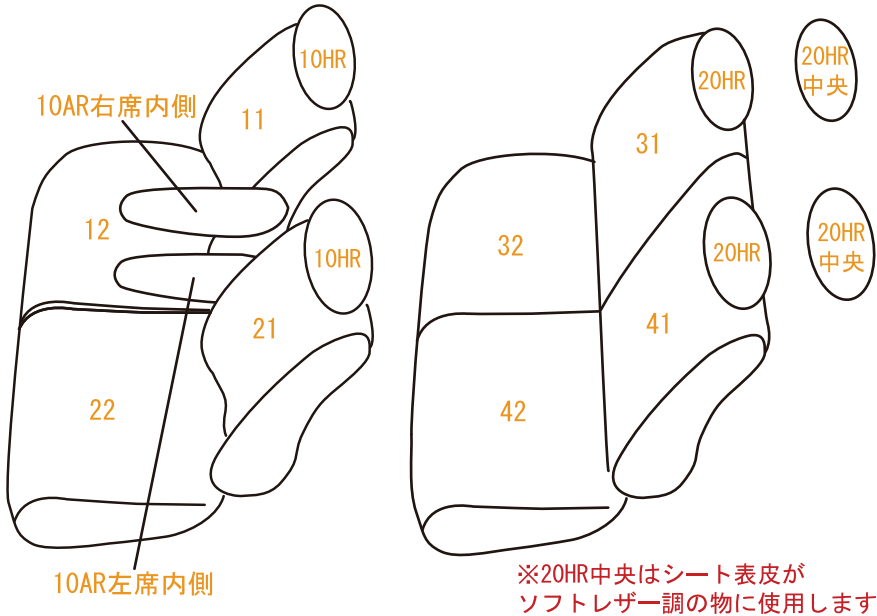
本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関するの
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

シートカバー装着前の注意事項	…> 1P～2P
警告 サイドエアバッグについて	…> 3P～4P
1 列目運転席座面の装着方法	…> 5P～10P
1 列目運転席背もたれの装着方法	…> 11P～15P
1 列目助手席座面の装着方法	…> 16P～20P
1 列目助手席背もたれの装着方法	…> 21P～28P
2 列目座面装着方法	…> 29P～32P
2 列目背もたれの装着方法	…> 33P～34P
ヘッドレストの装着方法	…> 35P～36P
アームレストの装着方法	…> 37P～38P
完成図	…> 38P
アフターサービスと生地別メンテナンス方法	…> 39P～40P

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



- 1 ソケットレンチ (ソケット : 10mm ・ 14mm)
- 2 プラスドライバー
- 3 クラッツィオ 専用ヘラ (付属)

この車種は上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地の表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがかきつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

■SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようご注意ください。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



2 シートを上から見た状態です。通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



4 シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。

3P ▶



- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることとなります。位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

Step 1

…> 1 列目運転席座面の装着方法

※シートカバーの装着にはシート裏側での作業があります。シート裏側には鋭利な金属もありますので怪我をされないように作業を行って下さい。



- 1 シートカバーを装着する前に確認して下さい。
シートリフターのレバーを動かすとレバー内側のプラスチックパーツと擦れる場合があります。擦れないように意識してレバーを動かすと、プラスチックパーツに当たることはありませんが、こちらはシートカバーを装着する前から起こり得る現象で特にシートを下げようとする際に起こります。シートカバーを装着したことが起因となり起こり得る現象ではないことを、予め確認して下さい。



- 2 カバーを装着する前にシートリフターでシートを一番高い位置へ調整しておきます。



- 3 シート背面下の図の点線で囲んでいる生地 (生地)の固定を外します。



- 4 シートの前側からシート裏を写した図です。シート裏の金属部分に黒色と白色のゴムが引っ掛けられています。このゴムの固定を全て外します。
※ゴムの色は仕様変更などで変わる場合があります。



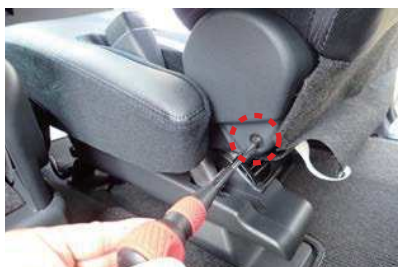
- 5 4番でゴムを外すと生地 (生地)の固定は一部外れますが、生地 (生地)に開いている穴に図のような配線 (配線)が通っているため、完全に生地 (生地)の固定が外れた訳ではありません。ゴムを外しても生地 (生地)を無理に引っ張らないように注意して下さい。



- 6 シートの背面から3番の生地 (生地)を引くと図のように生地 (生地)が出てきます。黒いゴムが付いている生地 (生地)はシートの背面側から出てきますが、白いゴムで固定されている生地 (生地)は一定の隙間 (隙間)ができる程度で止まります。こちらは配線 (配線)によりこれ以上は引き出せないようになっているので、無理に引っ張らないように注意して下さい。



- 7 シートリフターのレバーを外します。まずレバーの軸部分にあるキャップをヘラなどを使用して外します。



- 10 シートの内側です。図のプラスチックパーツ下側のネジを、ドライバーを使用して外します。



- 8 キャップを外すと内側にネジが1本あります。ネジをドライバーを使用して外すと、シートリフターのレバーが外れます。



- 11 10番のプラスチックパーツをシートから外します。図のシート表面側から見た位置にプラスチックパーツのツメがあります。ツメの位置を意識して上へめくり上げるようにして外します。作業は慎重に行ってください。

※図の『突起』の説明は21番で出てきます。



- 9 リクライニングレバーの下側にある図のネジを、ドライバーを使用して外します。



- 12 シートの背面側から両側面にある純正シート地のファスナーを開けます。ファスナーの先端はシート地の内側に入っているため図のように取り出して、ファスナーを上まで開けます。



- 13 カバーを装着する前に確認して下さい。カバーのシートベルトバックルが収まる位置辺りの生地には、図のように穴が開いています。穴は何かを通すために開いている訳ではありません。バックルなどを通そうとしないように、注意して下さい。



- 14 シートの内側からカバーをかぶせます。シートの内側の図の部分はカバーが袋状になっています。シートに引っ掛けるようにしてカバーをかぶせます。



- 15 14番の位置を軸として、シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。



- 16 9番でネジを外したプラスチックパーツの内側に、図のように生地を通します。通した生地には加工穴を開けているので、ネジ穴の位置と生地穴の位置が合うようにして下さい。生地を通したら9番で外したネジを元通りに固定します。カバーの加工穴の位置と、シートリフターのダイヤルの位置を合わせます。



- 17 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で作業を行って下さい。



- 18 入れ込んだ生地をシートの背面側から引き出します。生地を引き出すシートの背面側には配線が通っています。配線に注意して作業を行って下さい。



- 19 引き出した生地16番でプラスチックパーツの内側を通した生地16番の端を、マジックテープで固定します。



- 22 背面側へ引き出した生地を18番で引き出した生地18番に付いているマジックテープと固定します。



- 20 シート内側の軸部分です。
11番で外したプラスチックパーツ下側の純正シート地をめくり上げて、金属部分が見える状態にします。



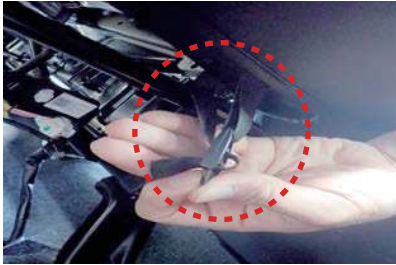
- 23 18番で引き出した生地18番の端に付いている2本のベルトを、シート裏を通して前側へ入れ込みます。



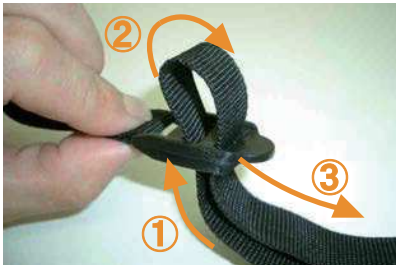
- 21 20番の位置にシートカバーをかぶせます。シートベルトのバックルの内側に生地を通して、背面側へ引き出します。この際、カバーにある2箇所の加工穴を、一つは10番のネジ穴の位置に、もう一つは11番のプラスチックパーツにある突起部分が収まる穴位置に合わせるようにして下さい。



- 24 シートの前側から入れ込んだベルトを引き出します。



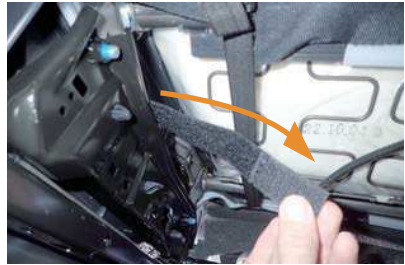
- 25 引き出したベルトをカバーの前側に付いているバックルに通して固定します。
※ベルトは必ずスライドレバーの上側を通して固定して下さい。



- 26 ベルトは①～③の順番でバックルに通します。まずバックルの中央にベルトを通して折り返します。次につまみ側の端を通して引くとカバーの前後が絞り込まれ固定されます。ベルトは強く引きすぎると生地が破れたり切れたりするので、注意して下さい。



- 27 シートの外側です。カバーの端に付いているマジックテープのベルトを、シートとプラスチックパーツの隙間に入れ込みます。この際、生地も一緒にシートとプラスチックパーツの隙間に入れ込んで下さい。



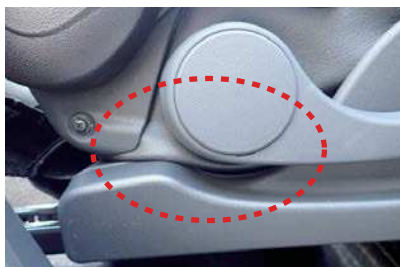
- 28 マジックテープのベルトをシート裏の隙間から引き出します。
※こちらは2番でシートを一番高い位置に調整していないと出てこないで、必ずシートを一番高い位置に調整しておくようにして下さい。



- 29 マジックテープのベルトをシート裏の金属フレームに巻き付けて折り返します。先端のオスのマジックテープをメスのマジックテープに貼り付けて固定します。



- 30 シート外側の後ろ側です。シートとプラスチックパーツの隙間に端に固定部材の付いた生地を入れ込みます。この隙間は固定部材が完全に入り込むほど奥行きがありません。固定部材が途中で引っ掛かる程度に入れ込んで下さい。



- 31 30番で入れ込んだ部分は、シートカバーを装着後シートを一番下まで下げると、図のように生地が折れ曲がります。シートカバーの生地は厚みがあるため純正シート地の様には収まりません。ご了承下さい。



- 32 11番で外したプラスチックパーツを元に戻します。図のツメ部分を先に引っ掛けます。



- 33 生地を挟み込みネジを固定します。



- 34 シートリフターを元通りに固定します。



- 35 カバーのラインを整えて、1列目運転席座面の完成です。
※3番の生地は背もたれカバーを装着する途中で元に戻します。

Step 2

…> 1列目運転席背もたれの装着方法



注意

サイドエアバッグ装着車の装着方法は、3ページと4ページの『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。



- 1 アームレストをシートから外します。図はアームレスト軸部分のキャップです。キャップのフチにヘラなどを差し込み、キャップを外します。



- 2 ソケットレンチなどを使用してアームレストを固定しているボルトを外します。ソケットは14mmを使用します。ボルトを外すとアームレストがシートから外れます。



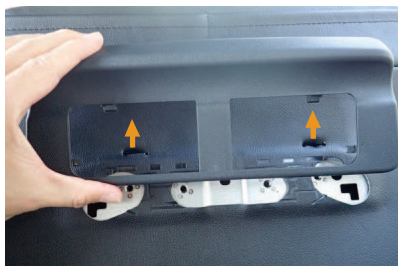
- 3 シートバックテーブルをシートから外します。テーブルを起こして裏側を見ると4本のボルトがあります。ボルトをソケットレンチなどを使用して外します。ソケットは10mmを使用します。



- 4 3番で外した両端のボルトの横に、図のクリップでテーブルを固定している部分があります。こちらはヘラなどを使用して上からクリップ部分を押し、テーブルを手前に引くと固定が外れます。



- 5 シートからテーブルが外れました。外したテーブルは外したままの状態、作業の邪魔にならない場所に運び出して下さい。



- 6 テーブルの付け根部分を囲っていた図のプラスチックパーツを、少し上へスライドさせて手前に引いて外します。



- 7 シート背面のスライドレバーを囲っているプラスチックパーツを外します。プラスチックパーツは角の位置にツメが4か所あります。図のようにツメ付近にヘラなどを差し込み、手前にヘラを返すようにするとツメが外れます。

※こちらの作業は慎重に行ってください。
ツメの位置は8番を参考にして下さい。



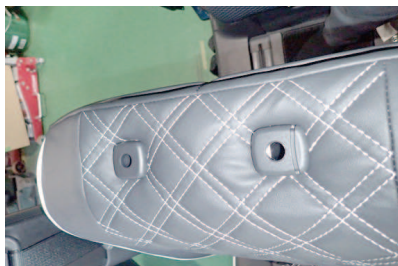
- 8 シートの背面からプラスチックパーツが外れました。



- 9 カバー両側面のファスナーを開けた状態にしておきます。シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。



- 10 ヘッドレストの台座を取り出します。まず台座の片側のフチに、生地をしっかりと入れ込みます。



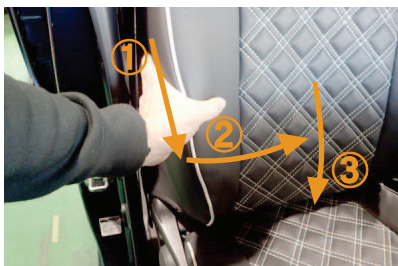
- 11 生地伸びを利用して台座を取り出します。
※革を使用したカバーでは、革は伸びないため加工穴が裂けてくる場合があります。生地が裂けてきても慎重に作業を行っていたければ台座の幅以上に裂け目は広がりません。作業は慎重に行ってください。



- 12 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。入れ込む生地にはフックが付いています。フックでカバーを傷付けないように、注意して下さい。



- 13 入れ込んだ生地をシート背面側から引き出します。



- 14 ①～③の順番に、カバー側面の生地を引き下げながら中央へ寄せて、中央で余った生地を下へ撫で下ろします。シートの下に余った生地を13番と同様にシート裏から引き出して、生地をシートに密着させていきます。



- 15 13番で引き出した生地の際に付いているフックを、図の人差し指で刺している純正シート地を固定しているフックの上から引っ掛けて固定します。



- 16 カバーのフックを図のように引っ掛けて固定します。

⚠ 注意 ⚠

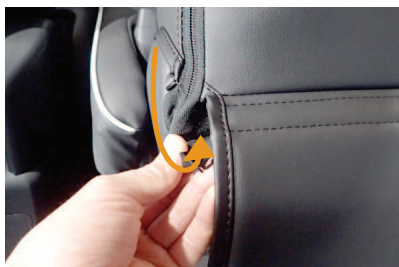
サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があります。危険です。



- 17 6ページ12番で開いた純正シート地のファスナーを閉じます。



- 18 カバーのファスナーを生地を内へ寄せ合いながら、左右均等に引き下ろして慎重に閉じます。この際、シート背面のカバーの加工穴と、バックテーブル・スライドレバーの位置がずれないように確認しながら作業を行ってください。ファスナーを閉じる際、ペンチなどの工具を使用して無理やり閉じようとすると、ファスナーが破損する恐れがあります。



- 19 ファスナーの端はカバーの内側へ入れ込みます。



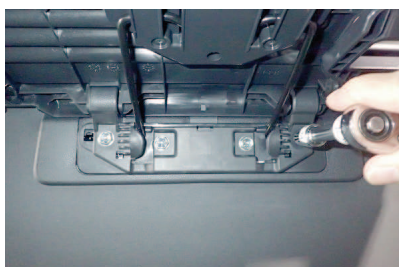
- 22 12ページ7番で外したプラスチックパーツを固定します。プラスチックパーツを生地を挟み込み元通りに固定します。ツメの位置に生地が覆い被さっているとしっかり固定できないため生地を外側に避けながら固定して下さい。



- 20 11ページ6番で外したプラスチックパーツを、生地を挟み込みながら元通りに固定します。



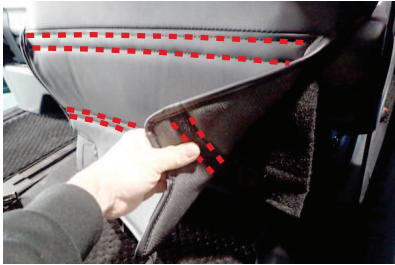
- 23 プラスチックパーツを生地を挟み込みながら元通りに固定します。ツメがしっかり引っ掛かっているか確認して下さい。



- 21 シートバックテーブルを元通りに固定します。
※ ボルトは強く締めすぎるとプラスチックパーツを破損させる恐れがあります。ボルトの締めすぎには注意して下さい。



- 24 5ページ3番の生地を元通りに固定します。シートの裏にはシートカバーのベルトなどが通っているため、それらをかきながらゴムを引っ掛けて下さい。



- 25 カバー背面下の図の点線部分にマジックテープが2か所付いています。マジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



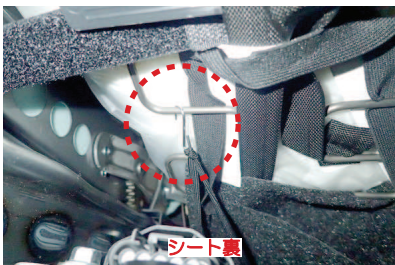
- 28 シートの背面側は図のようになります。



- 26 カバーの背面下にゴムが2本付いています。ゴムに付属の金属フックを取り付けます。



- 29 サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。カバーのラインを整えて、運転席背もたれの完成です。



- 27 金属フックをシート裏に引っ掛けて固定します。フックの固定位置に特定の場所はありません。ゴムにある程度のテンションが掛かる位置で固定して下さい。

Step 3

1列目助手席座面の装着方法



- 1 シート背面のテーブルとバックボードを外します。
テーブルは運転席同様ボルトとクリップで固定されています。11ページ3番・4番を参考にしてテーブルを外して下さい。



- 2 バックボードをシートから外します。
まずスライドレバーの下に付いているフックを外します。フック付近のボードの端を図のように手で掴み、手前に引くとフックが外れます。フックの固定は余り固くは無いので、慎重に作業を行って下さい。



- 3 2番で外したフック部分をそのまま浮かせた状態で、バックボードを真上にスライドさせるように持ち上げます。そうすることで上側にある2か所のツメが外れます。



- 4 バックボード下側のシート表皮の固定を外します。
図のように表皮を固定している部材の隙間にヘラなどを差し込み隙間を広げます。もう片方の手でシート表皮を引っ張ります。



- 5 角度を変えて写した図です。
シート表皮を固定している隙間部分は非常に固いため、作業は慎重に行ってください。



- 6 シート表皮の端が外れました。
端が外れると、後は慎重に固定部材を引っ張っていけばボードからシート表皮が外れていきます。



7 シートベルトをボードの隙間を通して抜き出します。



10 9番の生地を引っ張ると、図のようにシート表皮を固定していたフックが外れます。



8 バックボードがシートから外れました。シートの背面は図のようになります。この状態からシートカバーの装着を行います。



11 固定を外したシート表皮の端は、この後元に戻すことはありません。シートカバーの内側に入り込む形になります。邪魔にならないように折りたたんでプラスチックパーツの内側へ入れ込みます。



9 シートの背面側です。シートベルトの内側にシート表皮の固定を外す、長方形の生地があります。その生地を掴み引っ張ります。



12 シートの内側からカバーをかぶせます。シートの内側の図の部分はカバーが袋状になっています。シートに引っ掛けるようにしてカバーをかぶせます。



- 13 12番の位置を軸として、シート全体にカバーをかぶせます。



- 16 引き出した生地に付いているフックを180度折り返します。
10番で外したシート表皮のフックを固定していたプラスチック部にはめ込み、固定します。



- 14 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で作業を行って下さい。



- 17 16番のフックはシート表皮を固定していたフックより大きく、カバーの生地も厚みがあるため、完全にはフックがはまりません。フックの先端を入れ込むように固定して下さい。



- 15 入れ込んだ生地をシートの背面側から引き出します。
※シートの両端には配線があります。配線部分に注意して作業を行って下さい。



- 18 フックは一旦固定した後、さらにヘラなどで押し込みしっかりと固定して下さい。
※この際、シート背面側のシートベルトに当たらないように固定することが重要になります。



19 フックを固定すると図のようになります。



22 シート外側の軸部分です。
こちらのカバーの端にはゴムが付いています。
ゴムを図の隙間からシートの裏へ入れ込みます。



20 シートの外側です。
シートとプラスチックパーツの隙間に端に
固定部材の付いた生地を入れ込みます。



23 シートの裏から入れ込んだゴムを引き出します。



21 シートの外側の後ろ側です。
こちらもシートとプラスチックパーツの隙
間に端に固定部材の付いた生地を入れ込み
ます。



24 引き出したゴムに付属の金属フックを取り
付けます。
金属フックをシート裏の金属フレームに引
っ掛けて固定します。



- 25 シート内側の軸部分です。プラスチックパーツの隙間に端に固定部材の付いた生地を入れ込みます。こちらの隙間は大変狭くなっています。図の上側部分を指で押すと隙間が少し広がり入れやすくなります。



- 26 シート内側の軸部分は図のようになります。



- 28 マジックテープのベルトをシート裏へ入れ込み、金属フレームに巻き付けて固定します。



- 29 カバーのラインを整えて、助手席座面の完成です。



- 27 シート前側のカバーにはマジックテープのベルトが付いています。

Step 4

…> 1列目助手席背もたれの装着方法



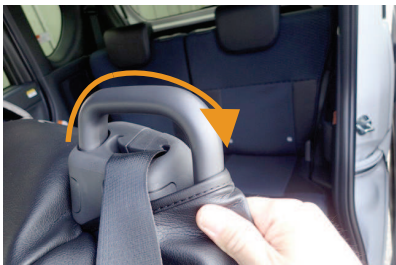
注意

サイドエアバッグ装着車の装着方法は、3ページと4ページの『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。

※助手席背もたれにシートカバーを装着すると、シートベルトの巻き取りが鈍くなる場合があります。シートカバーを装着後、シートベルトの確認を行う作業を説明していますが、シートカバーを装着する前もシートベルトを引っ張り、シートベルトの巻き取り具合を確認しておくようにして下さい。



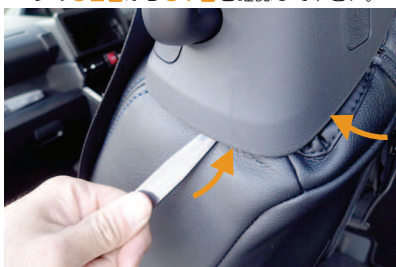
- 1 カバー背面のファスナーを開けた状態にしておきます。
シート外側の肩口から出ているシートベルトの内側にカバーを通します。



- 4 3番で入れ込んだ部分を軸として、台座部分にカバーを慎重に通します。
台座部分が大きいと通しにくい場合があります。その作業を行う場合は26・27ページの32番から37番を確認して下さい。



- 2 カバーをゆったりかぶせた状態で、背面のファスナーを半分ほど閉じます。
※カバーをしっかりとかぶせた状態では、ファスナーを閉じることが困難になります。



- 5 台座部分にカバーを通すことができれば、台座のフチにヘラなどを使用して生地を入れ込み、台座周りを整えます。
この際、台座のプラスチックパーツの隙間に生地を入れ込むことにより、シートベルトの巻き取りが鈍くなる場合があります。もしその現象が起きた場合は、25ページ28番からの内容を確認して下さい。



- 3 シートベルトが出ている台座部分を取り出します。
まず台座の片側のフチに生地をしっかりと入れ込みます。

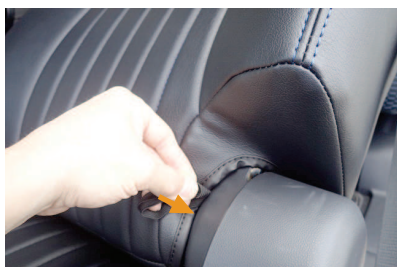
21P▶



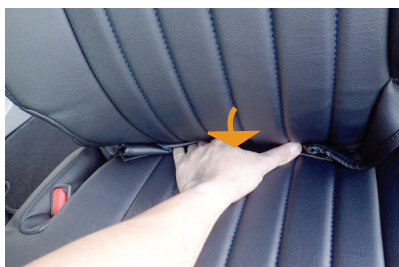
- 6 シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。



7 ヘッドレストの台座を取り出します。



10 シート外側の軸部分です。カバーの端にゴムが付いています。ゴムを軸の内側に通してシートの背面側へ入れ込みます。



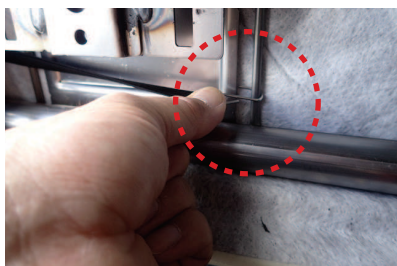
8 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で作業を行って下さい。



11 シートの背面側からゴムを引き出します。



9 入れ込んだ生地をシートの背面側から引き出します。



12 引き出したゴムに付属の金属フックを取り付けます。フックをシート背面の金属フレームに引っ掛けて固定します。



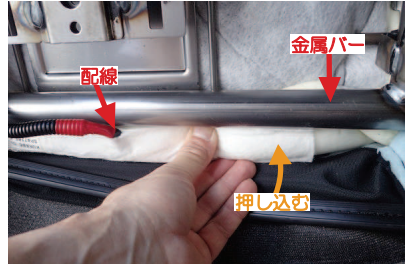
- 13 半分ほど閉じていたファスナーを全て閉じます。



- 14 カバー側面の生地をシートに馴染ませながら、シート背面で純正シート地を固定しているフックの上から、カバーのフックを引っ掛けて固定します。



- 15 反対側の側面も同様です。純正シート地を固定しているフックの上から、カバーのフックを引っ掛けて固定します。



- 16 シート背面側の下部分です。シートのクッションを図の金属バーの下側に入れ込みます。シートの中央に配線があるので、そこは入れ込むことができません。両端をできる限り入れ込んでおいて下さい。



シートベルトをバックボードに通す

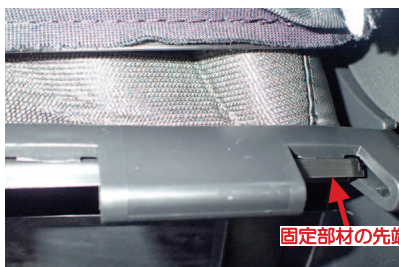
- 17 バックボードをシートに戻します。17ページ7番のシートベルトを、バックボードの隙間に通しておきます。バックボードの下側を固定する際は、図のような状態から作業を行います。ボードの表面に傷を付けないように注意して下さい。



- 18 9番で引き出した生地を改めてしっかりと引き出します。生地端に付いている槍状の固定部材を、図のように端を折り返して固定部材の先端を手前に向けます。



- 19 固定部材は16ページ6番で外したシート表皮と同じように固定します。固定部材の先端を16ページ4番でヘラなどで隙間を広げていた部分に入れ込みます。



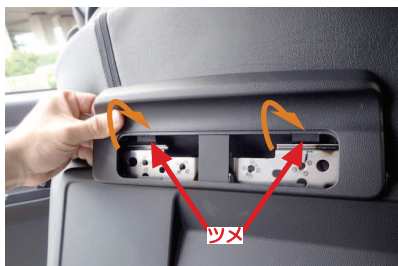
- 20 固定部材の先端が出て来るまで、しっかりと入れ込んで下さい。先端が出てくると『カチッ』と音がる感覚があります。



- 21 固定部材を全て入れ込み生地を固定出来れば、バックボードの表面側は図のようになります。



- 22 シート外側の軸部分です。こちらに、端に何も付いていない生地があります。生地をシートの背面側に引っ張り出します。生地はこの後固定するバックボードで挟み込み固定します。



- 23 バックボードの上側を固定します。16ページ3番で外したツメ2か所を、引っ掛けるようにして固定します。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、14番・15番・19番・23番の固定が正確にできていないとサイドエアバッグが閉かない可能性があり、危険です。



- 24 16ページ2番で外したスライドレバー下側のフックを固定します。フックと受け側の位置を合わせて、ボードを押し込み固定します。

24P ▶ ※フックの位置が合っていない状態でボードを押し込むと、フックが変形して固定できなくなります。作業は慎重に行ってください



- 25 シート肩口のリクライニングレバーのフチに生地を入れ込みます。



- 26 リクライニングレバー部分は図のようになります。



- 27 サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。
カバーのラインを整えて、2列目助手席背もたれの完成です。

ここからはシートカバーを装着したことでシートベルトの巻き取りが鈍くなった場合の確認方法を説明します。またシートベルトの台座周りの生地がきれいに収まらない場合などにも役立つ作業となります。

カバーの装着に問題が無く、**28番**の確認で問題が無ければ特に確認して頂く必要はありません。



- 28 シートカバー装着後、図のようにシートベルトを引っ張り、手を放して問題なくシートベルトが巻き取られるか確認して下さい。シートベルトの巻き取りが明らかに鈍いと感じた場合は、**29番**からの内容を確認して下さい。



- 29 始めにシート背面のシートベルトが出ている部分を確認します。
カバーのフックが純正シート地のフックより大きいため、生地とシートベルトが干渉する場合があります。しっかり固定していれば干渉しない程度の隙間ができるので、こちらで干渉している場合は、18ページ**16番**から19ページ**19番**のカバーの固定をやり直して下さい。



- 30 シートベルトの巻き取りが鈍くなる原因は多くの場合、シート肩口の後ろ側にあります。この部分に圧力が掛かると、シートベルトの巻き取りが鈍くなります。シートカバーを装着する前でも、この部分を指で押すとシートベルトの巻き取りが鈍くなり、強く押すと完全に巻き取りが止まります。



- 31 まずは、シートの背面からシートカバーの生地を掴んで生地を弛ませるように引っ張ります。これだけでシートベルトの巻き取りが解消する場合もあります。それでも解消されない場合は、32番からを確認して下さい。



- 32 シートベルト台座部分のプラスチックパーツを外して確認します。まず、シートベルトの裏側にあるネジを、ドライバーを使用して外します。



- 33 次に、プラスチックキャップを、ヘラなどを使用して外します。こちらは前側と内側に2か所あります。



- 34 2か所あるのプラスチックキャップを外すと、中にボルトがあります。ボルトをソケットレンチなどを使用して外します。ソケットは10mmを使用します。



- 35 内側のボルトを外す際は、ヘッドレストの台座を傷つけないように注意して下さい。



- 36 2か所ともボルトを外すと、まずシートを可動させる際に掴むアーム部分が図のように外れます。



- 39 生地が白いプラスチックパーツに干渉している場合は、図のように生地を引っ張り、白いプラスチックパーツに干渉しない位置に調整します。



- 37 プラスチックパーツを軽く揺らしながら手前に引くと、図のように外れます。



- 40 シートベルトの巻き取りが正常に作動していることを確認して下さい。
カバーの位置をずらしても解消されない場合は、白いプラスチックパーツのみ後ろに押し、シートベルトの巻き取りを確認して下さい。それで正常にシートベルトが巻き取りされれば、シートベルトの巻き取りが鈍くなる原因はこちらにあります。
その場合は、カバーの位置と一緒に、純正シート表皮、スポンジの位置も調整して確認して下さい。



- 38 30番の内容と同様になりますが、シートベルトの巻き取りが鈍くなる一番の原因はシート肩口の後ろ側にあります。
図のようにカバーの生地が、プラスチックパーツの内部にある、白いプラスチック部品を押し付けていることが、シートベルトの巻き取りが鈍くなる原因です。



- 27P ▶ 41 シートベルトが正常に巻き取りできるようになれば、プラスチックパーツを元に戻します。



プラスチックパーツの裏側

- 42 プラスチックパーツを戻す際も、注意が必要です。プラスチックパーツ後ろ側の裏側には、図のようにツメがあります。



この穴に通す

- 43 プラスチックパーツのツメを、白いプラスチックパーツの穴に必ず通して元に戻して下さい。



- 44 プラスチックパーツを完全に固定する前にシートベルトが正常に巻き取りされるか確認して下さい。



- 45 プラスチックパーツを元通りに固定して、再度シートベルトが正常に巻き取りされるか確認して下さい。

ここまで試みても改善されない場合は、弊社へご連絡下さい。

その際は、シートカバーを装着した状態が確認できるよう、以下の準備をお願いいたします。

- ・25ページ29番
- ・27ページ38番

これらの状態をカメラで撮影し、弊社へお送り下さい。

また、シートベルトが正常に作動しない場合は、必ずシートを使用しないで下さい。

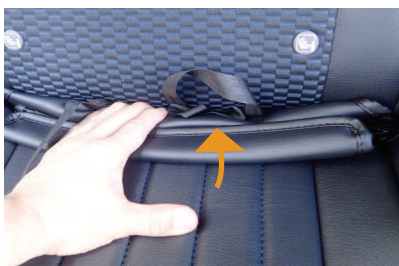
Step 5 …> 2列目座面の装着方法



- 1 シートの内側からカバーを装着していきます。
運転席側・助手席側のシートを前後にずらした状態で、カバーを隙間に入れ込むようにかぶせていきます。



- 2 シート全体にカバーをかぶせて、シートのラインに合わせます。



- 3 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。
生地は端にベルトの付いた生地と、生地の裏側に板状の部材が付いた生地の2枚あります。それぞれ入れ込んで下さい。



- 4 入れ込んだ2枚の生地をシートの背面側から引き出します。



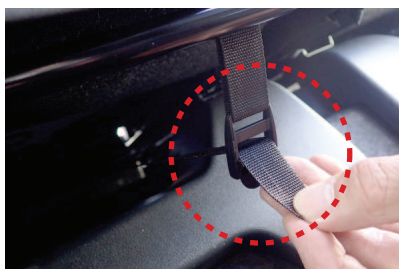
- 5 カバーの位置を確認します。
シートの付け根部分です。
カバーの加工穴からチャイルドシート固定用のバーが見えていれば、カバーは正しい位置にあります。バーが見えていない場合はカバーの装着を見直して下さい。



- 6 4番で引き出した生地の端に付いているベルトを、シートの裏から前側へ入れ込みます。



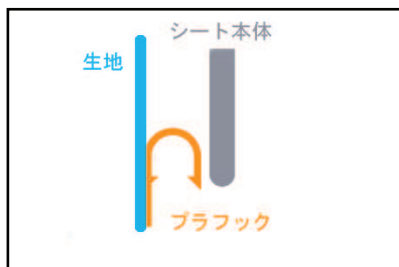
7 シートの前側から入れ込んだベルトを引き出します。



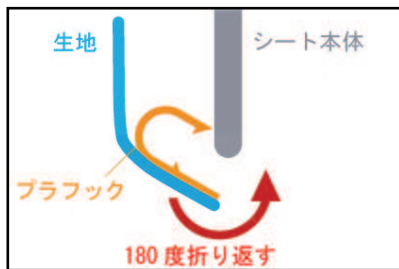
8 ベルトはシート前側のカバーに付いているバックルに通して固定します。バックルの固定方法は9ページ26番を参考して下さい。
※ベルトは必ずスライドレバーの上側を通して固定して下さい。



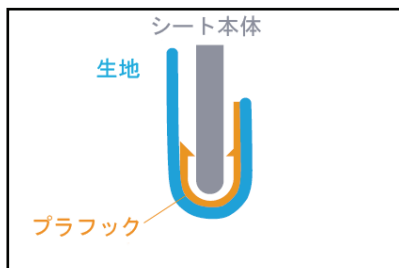
9 シートの外側です。こちらのカバーには生地裏側に大きめのブラフックが付いています。フックをシート本体のフチに引っ掛けて固定します。詳しくは10番から12番のイラストを確認して下さい。



10 ブラフックの固定方法を分かりやすく説明するためにイラストを使って紹介します。



11 ブラフックは、生地と共に180度折り返してからシート本体に下から上に引っ掛けるようにします。



12 正しく固定すると、このようになります。

Step 6

…> 2列目背もたれの装着方法



- 1 カバー外側面のファスナーを開けておきます。
シートラインに合わせてカバーをかぶせます。



- 4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 2 ヘッドレストの台座を取り出します。



- 5 入れ込んだ生地をシートの背面側から引き出します。



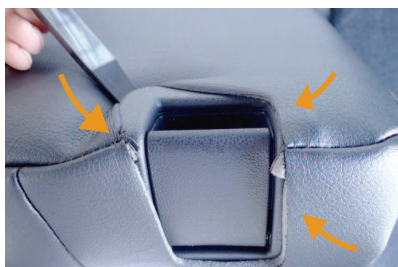
- 3 シート内側の軸部分です。
生地を引っ掛けるようにして、シート形状に沿わせてカバーをかぶせます。



- 6 カバー外側面のファスナーを、生地を内へ寄せ合いながら慎重に閉じます。
ファスナーの端はカバーの内側へ入れ込みます。



7 5番で引き出した生地と、カバーの背面下の生地をマジックテープで固定します。



10 シート肩口のリクライニングレバー周りの生地を、ヘラなどを使用してフチに入れ込みます。



8 シート背面のスライドレバー周りの生地をヘラなどを使用してフチに入れ込みます。



11 生地を全て入れ込むと、リクライニングレバー周りは図のようになります。



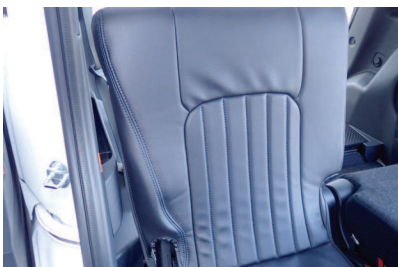
9 生地を全て入れ込むと、スライドレバーの周りは図のようになります。



12 カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も同様にに取り付けます。

Step 6

…> 2列目背もたれの装着方法



- 1 カバー外側面のファスナーを開けておきます。シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。



- 4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 2 ヘッドレストの台座を取り出します。



- 5 入れ込んだ生地をシートの背面側から引き出します。



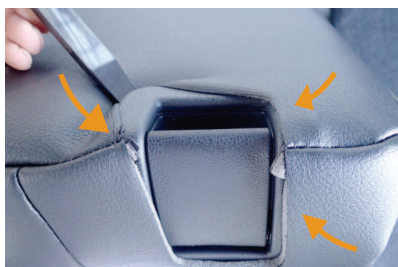
- 3 シート内側の軸部分です。生地を引っ掛けるようにして、シート形状に沿わせてカバーをかぶせます。



- 6 カバー外側面のファスナーを、生地を内へ寄せ合いながら慎重に閉じます。ファスナーの端はカバーの内側へ入れ込みます。



7 5番で引き出した生地と、カバーの背面下の生地をマジックテープで固定します。



10 シート肩口のリクライニングレバー周りの生地を、ヘラなどを使用してフチに入れ込みます。



8 シート背面のスライドレバー周りの生地をヘラなどを使用してフチに入れ込みます。



11 生地を全て入れ込むと、リクライニングレバー周りは図のようになります。



9 生地を全て入れ込むと、スライドレバーの周りは図のようになります。



12 カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。

Step 7

…> ヘッドレストの装着方法

1 列目ヘッドレスト



- 1 カバーを図のように裏返して、ヘッドレストのラインに合わせてかぶせます。ヘッドレストの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせて下さい。カバーは平らなプラスチックが付いている方が前になります。



- 2 裏返していた部分を左右均等に引き下ろしカバーをヘッドレスト全体にかぶせます。



- 3 ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレスト裏の生地を寄せ合いながら、マジックテープを固定します。



- 4 ヘッドレスト裏でブラフックを固定します。



- 5 ブラフックの固定方法は、かぎ状のフックに平らな方のプラスチックを生地と一緒に折り返して、はめ込み固定します。



- 6 ヘッドレストの裏側は図のようになります。

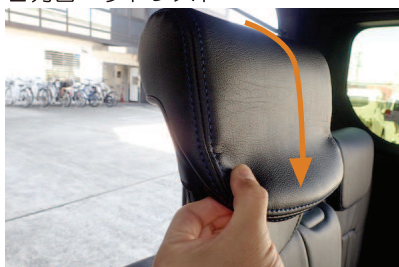


- 7 カバーのラインを整えて、1列目ヘッドレストの完成です。



- 10 ヘッドレスト全体にカバーをかぶせて、カバーのラインを整えます。

2列目ヘッドレスト



- 8 2列目ヘッドレストは2種類あり、2種類のシートカバーを同梱しています。ファブリックシートはカバーのタグに20HRと印字しているものを、ソフトレザー調シートは20HR中央と印字しているカバーを使用して下さい。

形状は異なりますが、どちらも同様の固定方法でカバーの装着を行います。

ヘッドレストの後ろ側の形状にカバーを沿わせるようにかぶせます。カバーをヘッドレスト全体にかぶせていきます。

カバーはヘッドレストの形状を見て前後を確認して下さい。



- 11 ヘッドレストをシートから外します。1列目ヘッドレスト同様に、マジックテープとブラフックでカバーを固定します。ヘッドレストの裏側は図のようになります。



- 9 ヘッドレストの前側にカバーを引っ掛けるようにしてかぶせます。



- 12 カバーのラインを整えて、2列目ヘッドレストの完成です。

Step 8

…> アームレストの装着方法

先端



- 1 カバーの大きい方の加工穴から図のようにカバーを裏返して、アームレストの先端まで生地が張るように、しっかりとかぶせませす。



- 4 アームレスト内側のプラスチックパーツのフチに、かぶさっている生地を入れ込みます。加工穴の方が大きいいため、プラスチックパーツにかぶさっている部分のみ生地を入れ込んで下さい。



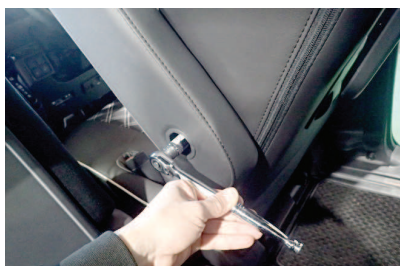
- 2 カバーをアームレスト全体にかぶせます。アームレストの後ろ側にカバーをかぶせていく際は、慎重に作業を行って下さい。



- 5 アームレスト外側の軸部分のプラスチックパーツのフチに生地を入れ込みます。こちらは表から見える部分になります。しっかりと生地を入れ込んで下さい。



- 3 カバーをアームレスト全体にかぶせて、カバーのラインを整えます。



- 6 アームレストをシートに戻します。

完成図



7 キャップを固定します。



1列目



8 カバーのラインを整えて、アームレストの完成です。



2列目



2列目背面から

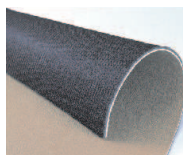


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかり水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となりますのでしっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。



www.11i.co.jp

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816